

# 桜工

## 2025

令和6年能登半島地震ならびに  
令和6年9月能登半島豪雨で被害を受けられた  
皆様に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興を  
衷心よりお祈り申し上げます。



## 目次

日本大学学長就任挨拶	
日本大学学長に就任して	「大貫進一郎」…………… 2
大貫進一郎先生の日本大学学長就任を祝う会	「三浦 光」…………… 3
能登半島地震復興にむけて	「宮本 義浩」…………… 4
現地ボランティア活動	「五味悠一郎」…………… 5
活躍する校友 ～ふるさとや地方で活躍する校友～	…………… 6
松崎 成義 / 藤垣 伊織 / 岩垂 裕司 / 宇都 義久	
佐藤 朱 / 阿部 慎司 / 小林 一善 / 松浦 真人	
前角 和明 / 平野 伸 / 中新 貴裕 / 横田 晶紀	
入部 真帆 / 永嶋 正己	
社会人大学院の勧め	「大月 穰」…………… 13
機械工学科創設 100 周年記念式典・祝賀会	…………… 14
轟朝幸先生の理工学部学長就任を祝う会 /	
山本理顕さんのプリツカー賞を祝う会	…………… 15
入試・進路	…………… 16
部会だより	…………… 19
土木 / 建築 / 機械 / 電気 / 工業化学 / 交通 / 精密機械	
物理 / 数学 / 海洋建築 / 航空宇宙 / 電子 / まちづくり / 情報	
支部一覧	…………… 26
支部だより / クラス会だより	…………… 28
事務局だより (事務報告・収支報告等・会費納入者名簿等)	… 33
理工学部・校友会 NEWS	…………… 35
令和6年度理工学部校友会奨学生	
令和6年度第38回工科系校友会連絡会ならびに懇親会開催	
令和6年度理工学部校友会工科系支部長会開催	
部会講演会活動報告	
教育支援 ～未来博士工房～ / ホームカミングデー	…………… 38
令和6年度桜工賞受賞者一覧	…………… 39

# 日本大学学長就任挨拶

## 日本大学学長に就任して

日本大学学長・日本大学理工学部教授

**大貫 進一郎**

(電気工学科：H3年卒)

(電気工学専攻 博士前期課程：H5修了)

(電気工学専攻 博士後期課程：H12年修了)

令和6年4月に日本大学学長を拝命してから、早一年が過ぎました。理工学部校友会のみなさまには、日ごろのお力添えに感謝を申し上げますとともに、昨年10月には心温まる就任祝賀会を開催いただきましたこと、心から御礼申し上げます。みなさまの負託にお応えすべく、一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。



私は、平成3年に電気工学科を卒業し、同12年に理工学研究科電気工学専攻を修了いたしました。幼少の頃からものづくりに親しみ、小学校の卒業文集を読み返しますと、当時から将来は科学に従事したいと考えていたようです。その後、精密機械の会社を経営する傍らさまざまな研究に挑戦してきた伯父に影響を受け、精密機械の制御には電気が必要と考えて、電気工学の道を志しました。ライフワークとなった電磁波工学の研究には、大学院生のときに出会い、留学先の米国イリノイ大学で自動車メーカーとの研究プロジェクトや学部・大学院での講義を担当させていただいたのち、平成16年に理工学部電気工学科に奉職いたしました。後輩である学生の育成を行いながら、先端の研究に触れる機会を多く得る中、本学で最初となる学部横断型の学術研究戦略プロジェクト（N.研究プロジェクト）に参画したことで、他分野との協働を経験させていただきました。新たな研究テーマの創出につながっただけでなく、総合大学である本学の知の広さを身をもって知ることができました。現在、私は学務・学生・研究の幅広い課題に関わらせていただいておりますが、その一つひとつと向き合う中、こうして理工学部で学ばせていただいたこと、経験させていただいたことが活きているのを、今、あらためて感じております。

学長としての最初の一年は、できるだけ多くのステークホルダーのみなさまとお目にかかる機会を持たせていただきながら、林真理子理事長と両輪で、本学の信頼回復と改革改善に邁進してまいりました。学生のみなさんとの関わりから、一人ひとりの笑顔とエナジーが大学を変える大きな力となることをあらためて実感し、校友のみなさまからは心の籠もった期待の言葉を賜る中、本学再生への思いをより強くいたしました。

本学最大の特徴は、文系・理系・医歯薬系、すべての学問分

野が共存している点にあります。自身の専門性を高められるのは当然のこと、様々な分野の人びととのコミュニケーションと議論を通じ、他者の考え方を理解し受入れることで、これまでにならぬ新しい価値を創造することが可能となります。目前に迫った超スマート社会 Society5.0におけるイノベーション人材の育成に向けて、高い専門性とリベラルアーツを涵養できる16学部86学科の教育を核としながら、総合教育機関としての一体感を醸成すべく新しい教育施策を積極的に推し進めてまいります。

「社会に出て改めて日大の強みを実感した」との卒業生の声をいただく機会が多くあります。これは、大学での学びだけでなく、社会で広く活躍される校友のみなさまのお力によるものと感謝の念に堪えません。新生日大への道は途上であり、決して平坦な道ではありませんが、校友のみなさまのお力を拝借しながら、誠実かつ迅速に取り組んでいく所存です。引き続きのご支援、ご協力を伏してお願ひ申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

【大貫 進一郎】(おおぬき しんいちろう)

1991年 日本大学理工学部電気工学科卒業

1993年 日本大学大学院理工学研究科電気工学専攻  
博士前期課程修了

2000年 同 博士後期課程修了

2000年 イリノイ大学電気コンピュータ工学科ポスドクトラル  
研究員、客員講師を経て、日本大学理工学部助手  
になり、専任講師、准教授

2015年 日本大学理工学部教授

2020年 日本大学理工学部（駿河台校舎）次長、日本大学理  
工学部情報教育研究センター長

2022年 日本大学理事、日本大学副学長

2024年 日本大学学長



理工学部校友会電気部会古田島康会長より記念品贈呈

# 大貫進一郎先生の日本大学学長就任を祝う会

## 大貫進一郎先生の学長就任を祝って

理工学部校友会常任幹事・電気部会役員

三浦 光

(電気工学科：S54 年卒)

(電気工学専攻 博士前期課程：S56 修了)

日本大学は、令和6年10月4日に創立135周年を迎えました。大貫進一郎先生は、この節目となる令和6年4月1日より、第16代日本大学学長に就任されました。大貫学長は理工学部電気工学科のご出身であり、関係者一同、非常に喜ばしいことと思っております。

祝う会は大貫学長のご意向もあり、理工学部およびその卒業生などの関係者で開催することになりました。そのため、理工学部校友会、理工学部、理工学部校友会電気部会、並びに理工学部電気工学科の4組織での共催となり、令和6年10月19日(土)の16時より、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターのsola city Hallで行われ、200名を超える方々にご参加いただきました。

司会の私三浦による開会の後、加藤 透理工学部校友会会長から大変名誉なことであり激励させていただくとのご挨拶をいただき、続いて、轟 朝幸理工学部長・理工学部校友会名誉会長からエピソードとして学部次長時代の苦労話を交えたご挨拶をいただきました。次に、参加者全員で「日本大学校歌」を声高らかに斉唱いたしました。司会から大貫学長のご略歴が紹介された後、古田島康理工学部校友会電気部会長からお祝いの言葉と共に記念品の贈呈、大貫研究室の初代修士修了の望月崇久様から花束の贈呈がなされました。

ここで大貫学長から答礼のご挨拶を頂戴いたしました。お礼のご挨拶の後、パワーポイントを用いられて、本学が取り組んでいる“教学DXの推進”や、新たに設置した“教学企画戦略委員会”や“副学長補佐・学長特別補佐”体制や、“日本大学競技スポーツセンター”の設置など、また、学生の一体感を持たせるための様々な企画、学生に寄り添うことを大切にされていることの現れである東都大学野球リーグ戦始球式での見事なノーバウンド投球の様子など、多くの取り組みをご紹介いただきました。

大貫学長ならびに轟理工学部長のご挨拶動画が、日本大学石川桜工会(石川県支部)ホームページでご覧いただけます。

<https://www.koyukai-ishikawa-cst-nu.com>



大貫研究室初代修士修了  
大澤龍一様



日本大学名誉教授  
山崎恆樹先生



大貫研究室の初代修士修了の望月崇久様から花束贈呈

その後、見城忠昭理工学部事務局長のご発声で乾杯が行われ、和やかな雰囲気のまま歓談となりました。久しぶりに会われた方も多かったようで、会場のあちらこちらで話が弾んでいました。歓談の途中では、大貫学長と同じ研究グループの先輩にあたる山崎恆樹日本大学名誉教授、大貫研究室初代修士修了の大澤龍一様、そして第14代理工学部長で現在は本学常任監事で大貫学長と共に改革を進めていらっしゃる山本 寛先生から、それぞれお言葉をいただきました。

会も進んだ頃、理工学部の応援歌でもある「若きエンジニア」を皆さんと元気よく斉唱し、篠田之孝電気工学科教室主任の中締めで、お開きとなりました。最後に、参加者全員での集合写真(裏表紙:P40に掲載)となりました。

大貫学長から、本学で取り組んでいる麻薬撲滅キャンペーンのために用意された学生向けの“ミレービスケット”をご提供いただき、お帰りの際にご参加の皆様にお持ちいただきました。ご参加いただいた皆様方に篤く御礼申し上げます。



歓談の様子

# 能登半島地震復興にむけて

## 令和6年能登半島地震・ 奥能登豪雨からの復旧・復興

### 1. はじめに

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、最大震度7を観測し、令和7年1月23日時点で死者508名、10万棟を超える住家被害が生じるなど県政史上未曾有の大災害となりました。(写真1)

更に、令和6年9月21日には、復旧途上にあった被災地を線状降水帯の発生による記録的な豪雨が襲い、広範囲で浸水被害や土砂災害が生じるなど、能登地域は壊滅的な被害を受けました。



写真1 地震による火災被害  
(輪島市)

### 2. 公共土木施設の被災状況と復旧状況

地震により、公共土木施設に加え、電気や通信などのインフラも壊滅的な被害を受けました。これらの施設の復旧や救命救急活動、支援物資等の輸送などを行うため、発災直後から、被災した道路をはじめとした公共土木施設の復旧に24時間体制で取り組みました。

#### (1) 道路施設の被災状況と復旧について

今回の地震では、落石や斜面崩落が大規模に発生し(写真2)、県管理道路では最大42路線87カ所が通行止めとなり、奥能登地域は一時孤立状態となりました。県では、国や自衛隊と連携しながら24時間体制で啓開作業を進め、発災3日後の1月4日には、金沢と奥能登4市町を結ぶルートを確認しました。引き続き、円滑な交通を確保するため、幹線道路の2車線確保や地域間を結ぶ道路の応急復旧を進めるなど段階的に交通開放を行ってきました。



写真2 道路施設の被災状況



写真3 道路施設の応急復旧状況

しかしながら、9月の豪雨により、応急復旧箇所が再度通行止めとなるとともに、新たに多くの通行止めも発生したことから、引き続き、道路啓開を実施し、12月末には外浦海岸沿いの国道249号の長期通行止めを解消(写真3)するなど、令和7年1月10日時点で通行止めは10路線19カ所となっています。

石川県支部 **宮本 義浩**

石川県 土木部 次長  
(土木工学科：H3年卒)



#### (2) 河川・海岸の被災状況と復旧について

河川・海岸においても地震で被害を受けた施設の応急復旧を進めていましたが、9月に発生した豪雨により、県管理の28河川で氾濫、38河川で流木や土砂の堆積、堤防決壊などの被害が発生しました。(写真4)



写真4 河川の氾濫 (輪島市)

現在、優先度の高い施設から大型土のうの設置による護岸復旧や、流木・土砂の除去などの応急復旧を進めており、今年の出水期までの完了を目指しています。

#### (3) 港湾施設の被災状況と復旧について

港湾施設では、県内全ての港で岸壁や防波堤などの施設が被災しましたが速やかに応急復旧を行い、金沢港を起点とした被災地への支援物資等の海上輸送を行いました。現在は、災害廃棄物の広域輸送にも港が活用されています。

また、海底隆起の激しい輪島港においては、海女漁や、カニ漁の操業が再開できるよう、漁の解禁日に合わせて浚渫などの応急復旧を完了させるなど、漁業者と二人三脚で復旧を進めています。

### 3. 創造的復興に向けて

県では、未来志向に立って持続可能な地域を目指す「創造的復興」への道筋を示すため、令和6年6月に「石川県創造的復興プラン」を策定しました。「能登が示す、ふるさとの未来」をスローガンに復興プランの目標年度である令和14年度末に向けて復旧・復興に取り組んでいくこととしております。

### 4. おわりに

この度の災害に際し、日本大学をはじめ、国や全国自治体、関係団体、民間団体、ボランティア、建設業の皆さまなど、多くの方々からの支援をいただいております。この場を借りて深く感謝申し上げます。

地震と豪雨の複合災害からの復興は、本県がこれまで経験したことのない長く険しい道のりとなりますが、今年を「創造的復興元年」と位置づけ、「新たな能登の未来を築く」という強い意志で、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 現地ボランティア活動

### 奥能登は落ち着きました。 だから、みんな行きましょう。

令和6年元日に発生した、能登半島地震。発災直後から1月末まで、2次避難所マッチングや定時運行バス予約管理などのシステムを完全リモートで構築し、運用を続けています。(桜門春秋No.149)。きっかけは、学生時代の友人で珠洲市在住の岩城慶太郎さんによるFacebookへの投稿でした。

羽田空港と能登空港のANA定期便が再開した、ゴールデンウィークに岩城さんからお誘いがあり、被災者支援を兼ねた防災教育をしようと、応用情報工学科と建築学科・建築学専攻の学生を引率して奥能登へ向かいました。(朝日新聞デジタル2024年4月28日)。Amazonの「ほしい物リスト」を活用するなど、発災直後から民間で被災者支援をしているSNSアカウント「おいしい金沢さん」との出会いもあり、現在では奥能登復興のハブとなっている、コワーキングスペース「奥能登ブリッジ」と繋がったのもこの時でした。

奥能登へ行って実感したのは、支援者が奥能登へ往來するための情報がインターネット上に殆ど無いことでした。情報工学の専門家として憤りを感じ、5月にポータルサイト「能登ステイ」を奥能登で出会った仲間と構築・運用となりました(<https://notostay.com/>)。またGoogleマップについても、多数の場所を追加・修正しました。

8月はサマーキャンプという形で他学部にもお声がけし、危機管理学部の学生を引率して奥能登へ向かいました(日本大学広報第186号)。事前打合せは、Slackおよび大学一括契約のZoomやGoogleワークスペースを用いて、全てオンラインで実施しました。事前準備中、社会福祉協議会のボランティアセンターでは人手が足りず、支援者のベースキャンプも余裕があるのに、送迎バスの定員オーバーで学生がボランティアに参加できないという問題が発生し、私がレンタカーで送迎することで参加可能となりましたが、他にも様々な課題や解決策が得られました。

奥能登は多数の宿泊施設が被災した上、復旧復興業者の利用を優先しており、一般利用できる宿泊施設が不足していました。中能登での教育研究拠点構築を目指し、志賀町のTOGISOが主催した9月中旬の古民家再生イベントにも現地参加、学生が活動拠点にできる古民家を確保しました。

そんな矢先の9月末、能登半島豪雨が発生。Amazonが奥能登への配達を中止している中、「おいしい金沢さん」から大量の支援物資が金沢に届いて人手が足りないと連絡があり、10月初旬は支援物資の調査目的で荷捌きや運搬のお手伝いをし、公的支援と民間支援は、相互補完の関係にあることを再認識しました。

能登外浦エリアでは、豪雨による土砂災害と断水が発生し、5月に清掃をお手伝いした庄屋の館も、解体が決まりました(NHK:真面目な男の復興記)。断水解消が見通せない中、屋外



#### 五味 悠一郎

応用情報工学科 准教授  
(電子工学科: H12年卒)  
(情報科学専攻 博士前期課程: H14修了)

に水タンクを設置して屋外水栓経由で屋内へ給水し、お風呂や洗濯機などを利用可能にする取り組みを民間で開始しました。まずは研究成果を用いて、給水ボランティア向けに危険箇所マップを作成(令和6年度日本大学理工学部学術講演会)。10月中旬からは給水作業を通してニーズを拾い上げ、延べ50ヶ所程度あった給水ポイントの情報を管理するシステムを、GoogleスプレッドシートやGoogleマイマップおよびLINEを組み合わせて構築・運用してきました。

10月下旬、西垣淳子前石川県副知事とお話する機会があり、1月の活動は災害関連死対策として意味があったこと、能登ステイは必要性に気付いた時点で既に稼働していたこと、を知りました。これまでの活動が報われた瞬間でした。

経営資源のヒトモノカネ情報は、復旧復興にも必要不可欠であり、被災地では、モノカネの支援に比べてヒト情報の支援が不足している気がします。授業で実施したアンケートから、支援に行きたい学生が一定数いるとわかり、支援に行く学生の負担を減らす仕組みづくりを始めました。災害発生時、校友会からの要請で大学がヒトモノ情報を支援できる仕組みがあると良いと思いますが、いかがでしょうか。日本大学災害研究ソサイエティ(NUDS)も活用してください。

令和7年1月。奥能登は誰でも遊びに行けるし、何でも手に入ります。でも、公費解体は終わっておらず、泥出しも終わっていません。身近で大規模な災害が発生したら、何ができますか。身近な災害対策として、今すべきことは何でしょうか。今の奥能登には、答えやヒントがあります。メディアを通して得られた情報は、良くも悪くも加工されています。だから、皆さん奥能登へ行きましょう。奥能登にある能登空港へは、羽田空港からANA便で片道1時間です。



珠洲市外浦エリアでの給水活動



給水活動に出発

## ～ 仕事をしながら専門性を高め、キャリアアップを目指す ～

大学院委員会 委員長 大月 穰

卒業生の皆さんの中に、業務に新しい展開の必要性を感じている方や専門性を高めてキャリアアップに繋がりたいと考えている方はいらっしゃいませんか?そのような方々に、仕事をしながら大学院に通い、専門性を高めることのできる社会人大学院制度を紹介致します。

### 1. 社会人大学院とは

仕事をしながら大学院生として大学で学び、また研究を行って、修士もしくは博士の学位をとる仕組みです。社会で活躍されている方々の知識、経験及び能力を大学院の専門教育によって学術的に磨き上げ、キャリアアップへ活かすことができます。

社会人博士前期課程は、社会変化に対応できる質の高い高度な専門家をを目指すもので、主に学士取得後2年以上経過した方が対象です。2年間の学びを通じて修士の学位を取得できます。また、社会人博士後期課程は、専門領域において高度で卓越した研究力を有する研究者の育成を目指すもので、主に博士前期課程を修了した方が対象となり、3年間の課程で博士号の取得を目指します。なお、修士の学位がなくても、同等以上の学力があると認められた方は対象になります。

### 2. 日常業務との両立が可能です!

大学院の特別研究は、指導教員と日程調整した上で行われるため、日常業務と両立することができます。また、一部の授業については、社会人大学院生向けに夕方遅い時間や土曜日に設置されています。

### 3. このような方にお勧めです!

研究・開発あるいは技術的な仕事に携わっている方々、特に海外業務を志す方々、研究業務についていて研究者として磨き

をかけたいと考えている方々には、特に勧めたいと考えています。また、チームリーダーの方で、部下の専門性を高めチームの研究・開発力を向上させようと考えている方も、是非、ご相談ください。

### 4. 入試概要

入学試験は、業績及び研究計画等についての面接と試問からなる口述試験のみですが、業績報告書や研究計画の提出が必要になります。事前に入学を希望する専攻の教員に相談をしてください。後述の専攻紹介ページから各専攻の研究指導教員と研究テーマを参照することができます。また、入学試験日程・学費等の詳細については、入試情報をご覧ください。なお、日本大学卒業生及び日本大学大学院修了生は入学金が免除されます。

#### (参考) 学費を支援する制度

日本学生支援機構の企業等の奨学金返還支援(代理返還)制度の利用もご一考ください。

社会人大学院 HP



専攻紹介



入試情報



募集要項



日本大学は、卒業・修了後もあなたの帰りを待っています。

— 日本大学大学院理工学研究科 学生募集情報 —

修士・博士の学位取得にチャレンジしませんか!!

### 2026年度 社会人入学試験(博士前期課程/博士後期課程)

募集内容	募集人員	Web登録期間	出願期間	試験日
社会人第1期	若干名	令和7年7月9日(水)～7月23日(水)18時まで	令和7年7月21日(月)～7月28日(月)	令和7年9月7日(日)
社会人第2期	若干名	令和8年1月26日(月)～2月9日(月)18時まで	令和8年2月6日(金)～2月13日(金)	令和8年3月7日(土)

\*「社会人入試」のほかに「一般入試」もあります。

\*各入学試験の日程、詳細については、各入学試験募集要項を必ず御確認ください。

問い合わせ先 日本大学大学院理工学研究科 入試事務室  
TEL 03-3259-0578/E-mail: cst.nyushi@nihon-u.ac.jp

# 教育支援～未来博士工房～・ホームカミングデー

## ◆ 令和6年度未来博士工房学生博士賞受賞式・ 成果報告会・懇親会開催

- \* 日 時：令和7年3月15日（土）13時～19時
- \* 場 所：理工学部駿河台校舎1号館6階CSTホール（受賞式・報告会）  
理工学部駿河台校舎1号館2階カフェテリア（懇親会）
- \* 対 象：理工学部校友会関係者、理工学部教員、理工学部学生、卒業生

### 【プログラム】（令和7年3月8日現在）

1. 未来博士工房学生博士賞受賞式 13時00分～13時30分  
進 行：理工学部 後藤 英次 教務課長  
選考経過説明：理工学部 高橋 賢一 未来博士工房委員長  
賞 状 授 与：理工学部 轟 朝幸 学部長  
学 部 長 挨拶：理工学部 轟 朝幸 学部長  
祝 辞：校友会 加藤 透 校友会会長  
写真撮影
2. 未来博士工房成果報告会（前半） 14時～15時  
進 行：理工学部 高橋 賢一 未来博士工房委員長  
挨 拶：校友会 中森 秀樹 校友会事業委員長  
☆ブリッジ工房 土木工学科3年 戸田 和希  
ブリッジ工房2024 成果発表 ～Growing with the Bridge～  
☆交通まちづくり工房 交通システム工学科3年 渡邊 柗介  
交通まちづくり工房 活動報告  
☆フォーミュラ工房 電気工学科3年 増田 雄大  
フォーミュラ工房円陣会022 プロジェクト22 回大会記録と伝承  
☆ロボット工房 精密機械工学科3年 勝又 亮太・中村 龍吉  
歩く貯金箱
3. 未来博士工房成果報告会（後半） 15時15分～16時15分  
進 行：理工学部 入江 寿弘 未来博士工房副委員長  
☆航空宇宙工房 航空宇宙工学科3年 寺崎 大智  
環境に配慮したジェットエンジンの開発  
～マイコンによる制御・計測のDX～  
☆電気モノ・コトづくり工房 電気工学科3年 大徳 伶成  
電気モノ・コトづくり工房活動報告  
～コンデンサ製作実験を通じた教育実験の改良～  
☆PC工房 電子工学科3年 メンドザヘーザ  
LEDを用いた高精度10符号簡易無線通信システムの開発  
☆物理学プロジェクト工房 物理学科3年 根本 妃那  
2024年度物理学プロジェクト工房の活動報告
4. 懇親会 16時30分～19時  
進 行：理工学部 高橋 賢一 未来博士工房委員長  
挨 拶：校友会 中森 秀樹 校友会事業委員長  
乾 杯：校友会 鈴木 弘幸 校友会事業副委員長  
歓 談  
中 締 め：校友会 高田 昌子 校友会事業副委員長  
写真撮影

## 令和6年度ホームカミングデー開催

広報委員会委員長 佐伯 勝敏

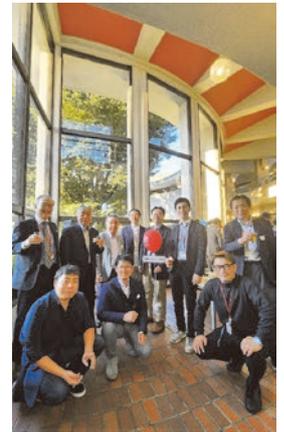
令和6年度のホームカミングデーは、船橋キャンパスにて開催しました。当日は晴天にも恵まれ、桜理祭&船橋キャンパスウォッチングと同時開催ということもあり、大勢の方がキャンパスにいらして下さいました。今回は、未来博士工房成果中間報告会を実施し、学生たちのモノづくりに取り組む姿勢を多くの方々にご覧頂きました。その後は、パスカルホール1階にて懇親会を行い、旧交を深めました。令和7年度は、駿河台キャンパスにて10月に開催する予定です。ぜひお誘いあわせの上、ご出席ください。

### 【開催内容】

- \* 開催日：令和6年11月3日（日）
- \* 桜理祭：日本大学理工学部 船橋キャンパス「ステージ企画・模擬店・研究室公開等」 10:00～17:00
- \* キャンパスウォッチング：日本大学理工学部 船橋キャンパス 10:00～15:00
- \* 未来博士工房成果中間報告会：日本大学理工学部 船橋キャンパス 13号館2階1325教室 参加者数：86名 13:00～15:20
- \* 懇親会：日本大学理工学部 船橋キャンパス パスカルホール1階 参加者数：213名 15:30～17:00

### 【懇親会次第】

1. 開 会：森岡日出男 理工学部校友会ホームカミングデー委員長
2. 挨 拶：轟 朝幸 理工学部長  
加藤 透 理工学部校友会会長
3. 乾 杯：居駒 知樹 理工学部（船橋校舎）次長
4. 歓 談
5. 中 締 め：荒谷 清志 理工学部後援会長
6. 閉 会：木村 元昭 理工学部（駿河台校舎）次長



## 令和7年度ホームカミングデーの開催（予定）について



日 時：令和7年10月12日（日）

開催場所：理工学部 駿河台キャンパス

駿河台キャンパスでは、同日に学部祭（桜理祭）も開催予定です。

ぜひ、この機会にご家族そろってお越しください。

★ 詳細内容が決まり次第、理工学部ならびに理工学部校友会ホームページに掲載予定です。

卒業生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

# 桜工賞受賞者一覧

## 桜 工 賞

桜工賞は理工学部校友会学生表彰規程に基づき、学生会員を励まし、本学卒業生としての自覚を促すとともに、理工学部校友会の存在をPRするために、平成2年6月19日に制定されました。表彰人数は卒業生の2%を基準としており、「桜工賞」の名称は、校友会誌「桜工」に由来しています。また、その年の卒業生に限らずに在学生も表彰の対象となっており、平成19年6月22日の通常総会において、学生表彰規程にグループ賞と団体賞が組み込まれました。受賞者には、表彰状ならびに記念品を授与し、これからの社会人としての活躍と校友会での活躍を期待しています。

### 令和6年度 第36回「桜工賞」

土木部会		
理 工 学 部	土木工学科	岩田 篤志
理 工 学 部	土木工学科	角居 里紗
理 工 学 部	土木工学科	永井 千皓
理 工 学 部	土木工学科	平田麟太郎
理 工 学 部	土木工学科	南 太輔
建築部会		
大 学 院	建築学専攻	丘 晴通
大 学 院	建築学専攻	奥山 雄太
大 学 院	建築学専攻	小野寺瑞穂
大 学 院	建築学専攻	小櫃 汐音
大 学 院	建築学専攻	瀬戸 謙汰
大 学 院	建築学専攻	楊井 愛唯
理 工 学 部	建築学科	宮田 太郎
短 期 大 学 部	建築・生活デザイン学科	曹 恩沢
短 期 大 学 部	建築・生活デザイン学科	仁平 雄治
機械部会		
理 工 学 部	機械工学科	神山 紗和
理 工 学 部	機械工学科	山田 友衣
理 工 学 部	機械工学科	沼里 一輝
電気部会		
大 学 院	電気工学専攻	吉原 佑樹
理 工 学 部	電気工学科	伊東 隼
理 工 学 部	電気工学科	荘 武尊
工業化学部会		
大 学 院	物質応用化学専攻	吉田 匠
大 学 院	物質応用化学専攻	伊藤 志帆
大 学 院	物質応用化学専攻	名越 隆哉
大 学 院	物質応用化学専攻	並木 啓太
理 工 学 部	物質応用化学科	湯浅 美悠
物理部会		
大 学 院	物理学専攻	菊池龍之介
大 学 院	物理学専攻	藤井 元暉
理 工 学 部	物理学科	石綿さつき
大 学 院	量子理工学専攻	行方祥太郎
数学部会		
大 学 院	数学専攻	荒川歩乃香
理 工 学 部	数学科	稗田 渉
理 工 学 部	数学科	森田 花奈

精密機械部会		
理 工 学 部	精密機械工学科	安齋 晶
理 工 学 部	精密機械工学科	上遠野和佳
理 工 学 部	精密機械工学科	尾藤 壮真
理 工 学 部	精密機械工学科	吉村 遼太
交通部会		
大 学 院	交通システム工学専攻	酒井 大翔
理 工 学 部	交通システム工学科	折笠 湧人
理 工 学 部	交通システム工学科	酒井 奏岳
海洋建築部会		
大 学 院 (グループ賞)	海洋建築工学専攻	内藤 隼汰
大 学 院	海洋建築工学専攻	鈴木 貴之
大 学 院 (グループ賞)	海洋建築工学専攻	福永 佳晏
理 工 学 部	海洋建築工学科	小野田 鼓
理 工 学 部	海洋建築工学科	薄井 李空
理 工 学 部	海洋建築工学科	齊藤 慶悟
航空宇宙部会		
大 学 院	航空宇宙工学専攻	齋藤麟太郎
理 工 学 部	航空宇宙工学科	安東 龍馬
理 工 学 部	航空宇宙工学科	内藤 正樹
電子部会		
大 学 院	電子工学専攻	山口 拓人
まちづくり部会		
理 工 学 部	まちづくり工学科	杉本 知優
理 工 学 部	まちづくり工学科	高橋 芽衣
情報部会		
大 学 院	情報科学専攻	宇井 浩
大 学 院	情報科学専攻	古田土祐樹
理 工 学 部	応用情報工学科	徳野 響
その他		
短 期 大 学 部	ものづくり・サイエンス総合学科	北村 天晴
短 期 大 学 部	ものづくり・サイエンス総合学科	増山佐和子

#### お知らせ

日本大学理工学部 理工研 News は今年度より Web サイトを通じてお届けすることになりました。  
下記 Web または QR コードから御高覧くださいようお願い申し上げます。

Web サイト : [https://www.cst.nihon-u.ac.jp/about/public\\_relations/news.html](https://www.cst.nihon-u.ac.jp/about/public_relations/news.html)



# 大貫進一郎先生の日本大学学長就任を祝う会



(撮影：角 耀)



理工学部校友会・理工学部校友会電気部会、理工学部・理工学部電気工学科の共催  
日 時：令和 6 年 10 月 19 日（土）  
場 所：御茶ノ水ソラシティ sola city Hall  
参加者：理工学部教職員、理工学部校友会役員、地方・職域支部役員、  
電気工学科卒業生  
左写真：「記念品（ネクタイとチーフ）贈呈」（学長室にて）  
左から 角耀理工学部校友会顧問、古田島康理工学部校友会電気部会長、  
大貫進一郎日本大学学長、三浦光理工学部校友会電気部会役員  
塩野光弘理工学部校友会電気部会役員

## 編 集 後 記

令和 6 年元旦の能登半島地震、また同年 9 月被災地の記録的豪雨による浸水、土砂被害を受けられた皆様の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

令和 6 年 4 月には、理工学部出身の大貫進一郎先生が学長に就任され、翌 5 月に建築学科出身の山本理顕氏が日本人で 7 人目、日本大学出身で初めてとなる「プリツカー賞」を受賞されました。

全国の大学受験者数が減少する中、本学の令和 7 年度一般選抜においては、日大の志願者数が、V 次回復となりました。

大貫学長より、社会に出て改めて日大の強みを実感されている卒業生が多くおられるとのお話がありましたが、本号の特集は「ふるさとや地方で活躍する校友」として編集し、各部会から推薦していただいた校友の皆様から、活躍の様子を寄稿して頂きました。

桜工編集に当り、ご寄稿賜った皆様やご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも何卒ご協力をお願い申し上げます。

(会誌副委員長 佐藤 信)

## 会 誌 委 員 会 (委員長 ◎、副委員長 ○)

◎伊藤 和宏 ○佐藤 信 ○安部 明雄 間宮賀津仁 野口 光徳 大貫 浩嗣 山崎 栄介 富永 茂  
宮城 徳誠 一柳 龍伸 三浦 光 荒井 滋人 梅津光一郎 滝瀬 敦士 田畑 昭久 居駒 知樹  
佐々木芳樹 相田 康洋

- 住所表示・勤務先・TEL 番号等の変更は事務局までご連絡下さい。
- クラス会等に「桜工」をお送りいたします。(実費&送料が必要です)
- クラス会の様子を桜工「クラス会だより」に掲載しませんか？  
会合名・卒年・学科・開催日時・場所・参加人数を含めお知らせください。  
\*各詳細・問い合わせ等は理工学部校友会事務局までご連絡ください。

〒101-8308  
東京都千代田区神田駿河台 1-8-14  
日本大学理工学部内  
日本大学理工学部校友会事務局  
TEL：03-3259-0650  
FAX：03-3293-1370 (石黒・田中)  
ホームページアドレス  
<http://www.koyukai-cst-nu.jp/>  
メールアドレス  
[alumni@koyukai-cst-nu.jp](mailto:alumni@koyukai-cst-nu.jp)

## 令和 7 年度通常総会

日 時：令和 7 年 6 月 27 日（金）  
会 場：東京ガーデンパレス

令和 7 年 3 月 25 日発行

## 日本大学理工学部校友会

(日本大学工科技校友会)



編集・発行者 伊藤 和 宏  
〒101-8308  
東京都千代田区神田駿河台 1-8-14  
電話 03-3259-0650  
FAX 03-3293-1370  
印刷所 株式会社 愛甲社